

7月4日(月)

聖書

マタイ5・4

聖句

悲しんでいる人たちは、さいわいである、彼らは慰められるであろう。

4節

くやしくて泣いたり、さびしくて泣いたり、いじわるされて泣き悲しんでいるのとはちよつとちがうのです。この悲しみは、「私の心が、罪でとても汚れていること」を心から悲しんでいる人のことです。イエス様は言っておられます。心の罪や汚れを心から悲しむ人こそ幸せな人です。その人は慰められるのです。イエス様の十字架によって、罪がゆるされるという大きな慰めを与えられるからです。さあ、罪を悲しんでイエス様のもとへ行こう。

いの

祈り 天のお父様、心の中の罪を知ることがつらくて悲しいですが、ゆるしの慰めをいただけることを感謝します。



聖書

マタイ5・1～12

タイトル

幸福の教え

暗唱聖句

こころの貧しい人たちは、さいわいである、天国は彼らのものである。 マタイ5・3

目

標 ほんとうの幸せをイエス様の教えによって知る。

7月5日(火)

聖書

マタイ5・5

聖句

柔和な人たちは、さいわいである、彼らは地を受けつぐであろう。

5節

あなたはがまん強い子？ それともすぐ怒ってしまう子？ 柔和というのは、やわらかい心で何でも受け止められる心のこと。ずっとがまんできて、お友だちにやさしくできる心の人のことです。柔和というといサクさんのことを思い出します。せっかく苦労して掘った井戸が二度もうばわれても怒らないでまた次を掘り、今度は争わなですんだので神様に感謝して使いました。そんなイサクさんを神様は祝福されました。柔和を追い求めましょう。

いの

祈り 天のお父様、イエス様も柔和で心のへりくだったお方でした。イサクさんやイエス様のよな柔和な心を与えてください。

7月3日(日)

聖書

マタイ5・1～12

聖句

こころの貧しい人たちは、さいわいである、天国は彼らのものである。

3節

だれでも幸せな毎日をすごしたいと願っています。そのためにはお金や物がいっぱいあるといいと、まちがえています。イエス様が本当の幸せとは何かを教えていてください。まず「心の貧しい人が幸せですよ」と。それは「自分の心の中には何も良いものや清いものや正しいものがありません。神様助けてください」と、へりくだってお祈りして求める人のことです。その時、神様との交わりがはじまり、その人の心に神様の愛の国が生まれるからです。

いの

祈り 天のお父様、イエス様の本当の幸せの教えを感謝します。私の心に、あなたのきよい愛をお与えください。

7月8日(金)

聖書

マタイ5・8

聖句

心の清い人たちは、さいわいである、  
彼らは神を見るであろう。 8節

何が一番幸せかといって、やっぱり、「心が清い」ということが一番の幸せです。心を清くしてください。お方は、真の神様であり、神様がわかしくくださったイエス様だけです。心の汚れや、犯してしまった罪の思い出があることほど、苦しいことはありません。心から素直に罪を認め、イエス様の十字架を仰ぐ時、「子よ、しっかりといなさい。あなたの罪はゆるされた」と言ってください。神様を見ることが出来ます。清い心の幸せは何物にも変えられません。

いの

祈り  
天のお父様、イエス様の十字架のゆえに罪がゆるされ、清い心の幸せを与えられることを感謝します。

7月6日(水)

聖書

マタイ5・6

聖句

義に飢えかわいている人たちは、さいわいである、彼らは飽き足りるようになるであろう。 6節

本物の義、正しさ、それは神様の義、神様の正しさです。神様を信じない人はみんな「ボクが正しい、私は正しい」と言うけど、お友だちとうまくいかなかったりします。どうしてかな?と悩むし、心の中はちっとも満足しないし、ますますさびしく空しくなります。それは本物の義、神様の義を求めているからです。「ああ、自分ってまちがっている、神様の正しさを教えてください」と心から渴いて求める者に神様は満足を与えてくださいます。

いの

祈り  
天のお父様、今までも神様の義を求めてきましたが、もっと求めさせてくださり飽き足らせてください。

7月9日(土)

聖書

マタイ5・9

聖句

平和をつくり出す人たちは、さいわいである、彼らは神の子と呼ばれるであろう。 9節

トラブル・メーカーって知ってる? コーヒー・メーカーはコーヒーを作る器だけど、トラブル・メーカーはめんどろな困難な問題ばかり起こしてしまう人のことです。あの子どもがいる所はいつもけんかやいたずらや困ったことばかり起こる、という子どものことです。でもその反対は今日の「ピース・メーカー」です。この子がくると、なぜかみんなやさしい心になって仲良くやっていけるといふような不思議です。ほら、それが神の子です。あなたは?

いの

祈り  
天のお父様、私も、どこへ行っても平和をつくり出していける本物の神の子となれるよう助けてください。

7月7日(木)

聖書

マタイ5・7

聖句

あわれみ深い人たちは、さいわいである、彼らはあわれみを受けるであろう。 7節

すべての人は、神様のあわれみの中で生かされています。神様のあわれみなしには一瞬たりとも生きていけません。そのことがよくよくわかれば、私たちは「あわれみ深い人」となります。「あわれみ深い人」とは、他の人の心がよくわかり、他の人に心から同情できる人のことです。自分のことしか見えない、わからない、考えられない人とは全然ちがうのです。あわれみ深い人はまた他の人々から深いあわれみを受けます。幸いですね。

いの

祈り  
天のお父様、あなたのあわれみの中に生かされて感謝です。お友だちの心がよくわかるあわれみ深い人になってください。

7月11日(月)

聖書

マタイ5・13

聖句

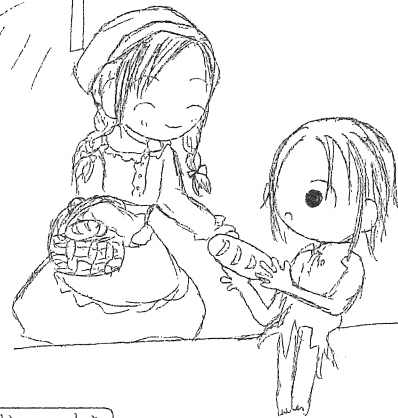
あなたがたは、地の塩である。

13節

塩をなめたことのある人！砂糖とまちがえてなめたら大変、ああしょっぱい！でも塩はとても大切なもので、とても大切な役目をもっています。全然目立たない、隠れたような静かな存在なんです、食べ物、味の付けや、腐るのを防ぐというすごく重要な働きをします。あなたがたはちょうど地の塩のように生きていくのですよイエス様は言われます。悪い行いや腐れが広がらないよう防ぐ役、交わりが明るくよいものになるようにしていく役目です。

いのちの祈り

天のお父様、私のような小さな者にも地の塩のような大切な役目を与えてくださってありがとうございます。



聖書

マタイ5・13~16

タイトル

世の光

暗唱聖句

人々があなたがたのよいおこないを見て、天にいますあなたがたの父をあがめるようにしなさい。

マタイ5・16

目標

光の子として生き、天の父があがめられるようにしよう。

7月12日(火)

聖書

マタイ5・14~15

聖句

あなたがたは、世の光である。

14節

ろうそくの光、懐中電灯、電気の光、これらは部屋の中や暗い道を照らしてくれるありがたい光です。暗やみは不気味だし、恐ろしい時もあります。では「世の光」って何でしょう？神様を信じない人の心の中は「やみ」、そこから出てくる行いもやっぱり「やみのわざ」。つまり、神様に喜ばれず、人を傷つけるものです。その中で、私たちは神様のきよい光、愛の光を照らすのです。み言葉に従うので、他の人とはちがう生き方をして輝きます。

いのちの祈り

天のお父様、あなたのみ言葉に照らされて、世の光として輝いて生きることができるようにお守りください。

7月10日(日)

聖書

マタイ5・13~16

聖句

人々があなたがたのよいおこないを見て、天にいますあなたがたの父をあがめるようにしなさい。

16節

月がどうして夜空に輝いているのか知っている？太陽の光に照らされているからです。これを反射と言います。私たちが天の父の光を浴びて、光を輝かせる光の子どもののです。みんなの絵や習字が入選したら、お父さんはホクホクですね。あなたが誰かに親切にしたら、あなたのお父さんは立派だねとほめられます。そのように、父なる神様の子どもとして、親切や良いことをしたら「神様を知っている子はちがうね」と天の父があがめられるのです。

いのちの祈り

天のお父様、光の子どもとして、あなたの光をもっと輝かせて、あなたがあがめられるように助けてください。

7月15日(金)

聖書 コロサイ1・9～14

聖句 神は、わたしたちをやみの力から救い出して、その愛する御子の支配下に移して下さい。 13節

W・W・J・D? って聞いたことある? ホワット・ウッド・ジーザス・ドウ? イエス様だったらどうするのかな? という英語の頭文字をつないだものです。とっても魅力的な言葉と、内容だと思っています。イエス様に出会う前は、私がやりたい放題をする、やみの力の支配の中にいました。しかし今や、イエス様によってやみの力から救い出されて、イエス様の言われるように生きていく者となりました。だから合言葉は、W・W・J・D? なのです。

いのちの祈り

天のお父様、わがままなやみの力から救い出してください感謝します。イエス様だったらと、いつも考えられますように。

7月13日(水)

聖書 エペソ5・8～14

聖句 光の子らしく歩きなさい。 8節

イエス様を信じた時、その人の心のやみは逃げ去り、光なるイエス様を宿す光の子とされます。なんとうれしく感謝なことでしょう。ここには光が結ぶよい実のことが書かれています。あらゆる善意と正義と真実との実とあります。好意的に人を見てあげて、良くなるようにその人を助けてあげる。まちがった道や曲がった道には進まず、うそや偽りのない心と態度で人々と交わるといことです。やみの世でそんな人が輝くのは当然ですね。

いのちの祈り

天のお父様、悪意やうそやごまかしのいっぱいの世で、光の子らしくよい実を結べるように導き用いてください。

7月16日(土)

聖書 Iヨハネ1・5～10

聖句 神が光の中にいますように、わたしたちも光の中を歩くならば、わたしたちは互に交わりをもち、そして、御子イエスの血が、すべての罪からわたしたちをきよめるのである。 7節

神は光で、少しも暗いところがありません。神様は光の中におられるお方です。私たちも光の子どもとして、光の中を歩き続けるならば、神様とお交わりをしながら、一緒に歩みつづけることができます。そして、御子イエス様の尊い血が、すべての罪から私たちをきよめ続けてくださるという、すばらしい約束のみ言葉です。どんな時も光の中を歩き続けましょう。

いのちの祈り

天のお父様、光なる神様を信じていることができますありがとうございます。いつも光の中を歩ませ続けさせてください。

7月14日(木)

聖書 ペリピ2・12～18

聖句 あなたがたは、いのちの言葉を堅く持って、彼らの間で星のようにこの世に輝いている。 15節

今の世の中も、「曲った邪悪な時代」と言えます。そのただ中で、傷のない神の子として生きたいです。どうすればいいでしょう。「いのちの言葉を堅く持つて」とあります。いのちの言葉、つまり聖書のみ言葉ですね。イエス様の言葉は絶対にまちがいはありません。み言葉を心に刻み、口に出して暗唱し、そしてみ言葉の言とおりに生きていくとき、人々の中で、「星のように」輝いていけるのです。さあ、今日もキラキラ生きましょう。

いのちの祈り

天のお父様、あなたのいのちの言葉だけが頼りです。しっかり握って、私も星のように輝かせてください。

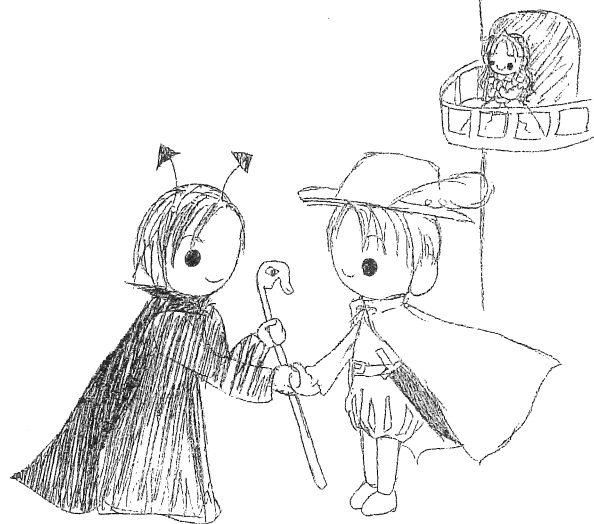
# 7月18日(月)

**聖書** マタイ5・38～39

**聖句** もし、だれかがあなたの右の頬を打つなら、ほかの頬をも向けてやりなさい。 39節

私たちの天の父の完全な愛を知ってお祈りしたら、本当にすごいことができる子どもにもしてもらえますのですね。神様を知らなかったら、右のほっぺたをパチンとたたかれたら、もしかしたら何するんだよって、こちらも相手のほっぺたを、パチン、パチンとたたかもしれません。そしてなぐり合い!?でもイエス様の教えに従って、左のほっぺたを出したら相手はびっくりしてただけなくなって怒りがおさまったら、まさにピース・メーカーですね!

**いのちの祈り** 天のお父様、仕返しをしないようにとの教えをありがとうございます。平和をつくり出す神の子としてください。



**聖書** マタイ5・43～48

**タイトル** 天の父

**暗唱聖句** 敵を愛し、迫害する者のために祈れ。 マタイ5・44

**目標** 天の父の完全な愛を知り、信じる。

# 7月19日(火)

**聖書** マタイ5・40～42

**聖句** もし、だれかが、あなたをしいて一マイル行かせようとするなら、その人と共に二マイル行きなさい。41節

どんなことでも無理矢理させられるのは、だれでもいいなことですよ。一マイルとは約一・五キロメートルくらいですが、歩かせられるのは考えただけでもしんどいです。しかし、天の父の子は、もう一マイル余分にその人と一緒に行くのです。これを「二マイル精神」と言います。道を行くことだけでなく、何でも無理にさせられても、時には頼まれたとしても、その倍くらいをする心のことです。お掃除、おつかい、洗い物、さあ二マイル精神ですよ。

**いのちの祈り** 天のお父様、すばらしいあなたの教え、「二マイル精神」をスマイル(笑顔)で実行させてください。

# 7月17日(日)

**聖書** マタイ5・43～48

**聖句** 敵を愛し、迫害する者のために祈れ。 44節

今週は、私たちの天の父なる神様の完全な愛について知り、神様を信じることにしましょう。ふつう神様を知らない人なら、敵を憎むのはあたり前。ここでは、神様を信じていたユダヤ人たちがイエス様の時代に、「隣人を愛し、敵を憎め」と言い合っていました。ところがイエス様は、天の父の完全な愛を知る天の父の子だったら、「敵を愛し、迫害する者のために祈りなさい」と言われます。お祈りが鍵です。お祈りで不思議と奇跡がおこります。

**いのちの祈り** 天のお父様、あなたの子どもとして、いじわるしてくる子どものためにも祈り、その子どもを愛せる子どもにしてください。

7月22日(金)

聖書

Iヨハネ4・13～18

聖句

愛には恐れがない。完全な愛は恐れ  
をとり除く。 18節

私たちはどうして死ぬのが怖いのでしょうか？それは最後に神様の前で審判があることが、なぜかわかっているからです。でも死の恐れやいろいろな恐れを取り除いてもらえる道があります。それが神様の完全な愛です。私たちもまた完全な愛、全き愛をもって、神様と人を愛する時、恐れがとり去られます。それが「この世にあって彼（イエス様）のように生きていく」ことです。そういう人はさばきの日に確信を持って立つことができるのです。力強いですね。

祈り

天のお父様、あなたの完全な愛を感謝します。恐れをしめ出す完全な愛であなたを愛せるようにしてください。

7月20日(水)

聖書

Iヨハネ4・7～8

聖句

神は愛である。

8節

今日の聖句は、私たちの天の父なる神様の完ぺきな紹介です。神様の愛は、人と人との間の愛と区別するために、特別な言葉で「アガペーの愛」と言われます。神様の完全な愛をさしています。この神様の愛こそがすべての愛の源なのです。だから、本当に愛することのできる人というのは、神様から生れて神様を知っている人です。神様を知らない人の愛は「セモノで、誰も本当に愛せないのです。ますます神様を知って本当の深い愛の人にならせていただきますように。

祈り

天のお父様、完全な愛、アガペーの愛を知る子どもにしてください感謝します。さらに深い愛の持ち主にしてください。

7月23日(土)

聖書

Iヨハネ4・19～21

聖句

わたしたちが愛し合うのは、神がまずわたしたちを愛して下さったからである。 19節

あなたは神様を愛していますか？イエス様が大好きですか？目に見えない神様イエス様を愛しているってことはどうやってわかるのでしょうか？それはあなたが目に見えるお友だちや、お家の人や、近所の人をどれだけ愛しているかによってすぐにわかりますよ。お友だちを憎んでいて、「ボク、神様を愛しているよ」というのは全くのうそです。神様がまず私たちを愛してくださいました。だから私たちも神様を愛し、互に愛し合えるようになります。

祈り

天のお父様、私たちはあなたに愛されてはじめて互に愛し合えるようになり、心より感謝します。

7月21日(木)

聖書

Iヨハネ4・9～12

聖句

ここに愛がある。

10節

まず初めに神様の方から私たちを愛してくださいました。私たちの内には、神様を愛する愛なんか少しもありませんでした。それより自分中心で、弱くて罪ばかり犯していました。ひどい時は神様に敵対していたような者です。そんな私たちのために神様の一方的な愛が注がれました。人間の愛は、これだけ愛したから、もっと愛し返してほしいというものです。でも神の愛は、そんな神様に背を向ける者のために大切なひとり子さえ十字架につけるほどの愛です。

祈り

天のお父様、あなたの最高、最大、永遠、不変の完全な愛を私のために十字架であらわしてください感謝します。

7月25日(月)

聖書

マタイ6・9

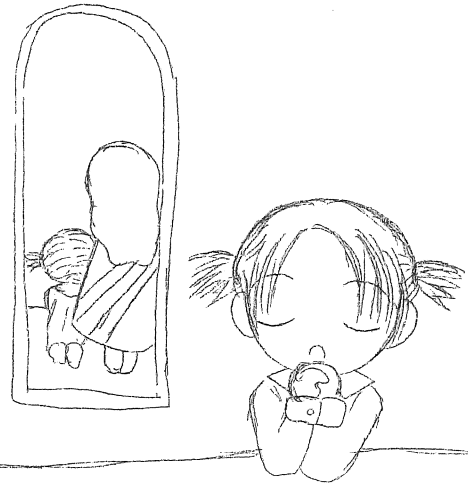
聖句

天にいますわれらの父よ、御名が崇められますように。 9節

今週は、イエス様が教えてくださった模範のお祈り、「主の祈り」を学んで、心から主の祈りをお祈りするようにならねば。心の中にお祈りされたらいいですね。まず、神様への呼びかけです。「天にいます、一体どこでしよう?」どこにでもいてくださる天のお父様です。「われらの」とあります。ひとりで隠れて祈っていても、愛する仲間、共に神の子として神様を信じる仲間がいます。心強いです。神様のお名前が尊いものとして敬われますように。

いのちの祈り

天のお父様、あなたの子どもとして、あなたを信じる人々と共に、あなたが崇められますようにと祈ります。



聖書

マタイ6・5~8

タイトル

真の祈り

暗唱聖句

あなたは祈る時、自分のへやにはいり、戸を閉じて、隠れた所においでになるあなたの父に祈りなさい。 マタイ6・6

目

ほんとうの祈りをささげる生活をする。

7月26日(火)

聖書

マタイ6・10

聖句

御国がきますように。 10節

「御国」とは? 神様の国、神の国のことです。そこは神様が愛をもって、王として治めておられる所です。イエス様を信じる子どもたちの心には、もう御国がきました。イエス様の言われるとおりに生きていきます。この御国が広がりますように。もっとイエス様を信じる人たちがおこされますようにというお祈りです。そしてもう一つは「イエス様、おいでください!」とイエス様のご再臨を待ち望むお祈りです。イエス様が全地の王になられますように!

いのちの祈り

天のお父様、私の心に御国を来たらせてくださり感謝です。御国がどんどん広がられるようお祈りいたします。

7月24日(日)

聖書

マタイ6・5~8

聖句

あなたは祈る時、自分のへやにはいり、戸を閉じて、隠れた所においでになるあなたの父に祈りなさい。 6節

皆さんはお父さんとよくお話しますか? 何でも聞いてもらえるといいでしょう? お祈りは、天のお父様とお話です。天のお父様は目に見えませんが隠れた事を知らんになつておられます。本当のお祈りは、人前で得意になって、人に聞かせるものではありません。自分の部屋にはいり、戸を閉じて、何もかも知っていてくださる天のお父様にお話をする、これが本当のお祈りです。あなたが祈りするのを待っていて喜んでくださいます。

いのちの祈り

天のお父様、誰にもわかってもらえないことも全部わかってくださるあなたに、隠れた所で心からお祈りします。

7月29日(金)

聖書

マタイ6・12

聖句

わたしたちに負債のあるものをゆる  
しましたように、わたしたちの負債  
をもおゆるしてください。 12節

「あの子だけは絶対に赦せない」なんて言  
ったり、思ったりする子どもがいたら、その  
子どもは神様のみこころをとて痛めている  
子どもです。私たちはみんな、赦し合なけ  
ればとても生きていけないのです。まず、神  
様に赦されたことを心から感謝する時、私た  
ちはどんな子どもでも、どんな人でも赦して  
あたり前と思うことができます。そして赦し  
ましたから、どうか私のことにも赦してくださ  
いとお祈りができます。赦されるのは喜びで  
す。赦すのも喜びなのです。

いの  
祈り

天のお父様、あなたに赦された子どもとし  
て、お友だちとの間にいつも赦し合う心と交わ  
りを与えてください。

7月27日(水)

聖書

マタイ6・10

聖句

みこころが天に行われるとおり、地  
にも行われますように。 10節

「みこころ」、これは「神様の心」です。  
それは完全な心、完全な思い、完全な計画で  
す。天において、神の国において神様の完全  
なお心通りのことがなされています。ちよう  
どそのように、どうか地上でも神様の完全な  
思いがなされていきますようにという大胆で  
完全なお祈りです。地にもそれはまず、私  
の内に、家族一人一人の内に、お友だちの内  
に、さらには日本に、世界にと広げられてい  
きます。何というスゴイお祈りなのでしょう  
か！

いの  
祈り

天のお父様、今日一日、まず私の心の内に  
あなたのみ心を示し、従う者とならせてくださ  
い。

7月30日(土)

聖書

マタイ6・13

聖句

わたしたちを試みに会わせないで、  
悪しき者からお救いください。 13節

私たちのまわりを誘惑がとり囲んでいる。  
今はそんな時代ですね。インターネットも便利  
だけれど、「ご注意、ご注意、特に「悪しき者」  
サタンは光の天使のようにやってきて、神様  
を信じる者たちを陥れようとしています。人間は  
サタンよりも弱いのです。だから悪しき者か  
らお救いくださいと祈らなければなりません。  
そしてただ一人、サタンに打ち勝たれたイエ  
ス様のように、私たちも日々「み言葉」を心  
にいたいて、誘惑に勝っていきましょう。

いの  
祈り

天のお父様、主の祈りを感謝します。これ  
から毎日主の祈りをし、サタンに負けないよう、  
歩ませてください。

7月28日(木)

聖書

マタイ6・11

聖句

わたしたちの日ごとの食物を、きよ  
うもお与えください。 11節

このお祈りにはたくさんの方が言われて  
います。毎日毎日の身体のための食物は、す  
べて神様がくださるものです。一体どれほど  
の種類でしょう！おいしく食べられ、健康も  
心から感謝しましょう。世界の五分の四の人々  
は食べ物がないで苦しんで死んでいく  
人々が一日に二万五千人もいます。日本は五  
分の一に占まれる豊かな国です。よくよく考  
えましょう。食事のお祈りの時、食べ物な  
い人々に食べ物があるようにと祈り  
ましょう。

いの  
祈り

天のお父様、食べ物がありがとうございま  
す。飢えで苦しむ人々にどうぞ今日も食べ物  
をお与えください。

8月1日(月)

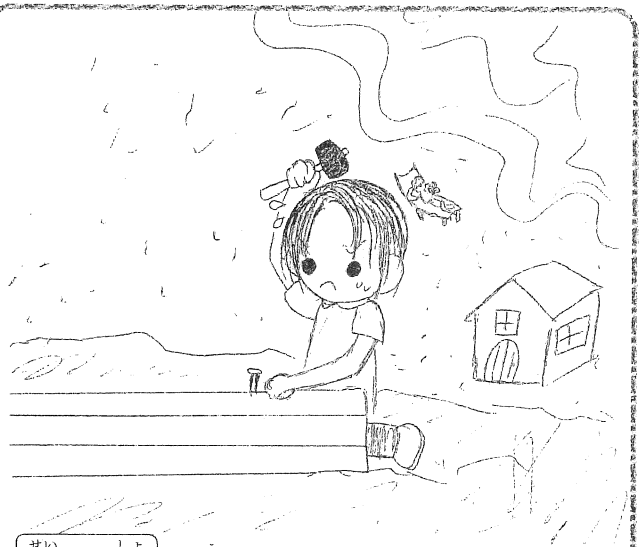
聖書 マタイ7・15～20

聖句 すべて良い木は良い実を結び、悪い木は悪い実を結ぶ。 17節

「にせ預言者」に注意しなさいとイエス様は言われます。外側は羊のようでも内側は欲深におおかみです。外側は、神様の教えをよく知っているし、すばらしいお祈り、立派な施しをするかもしれないけれど、内側は自分中心です。神様の教えを語ったりするけれど、自分は守ろうとしていません。ちょうど砂の上に自分の家を建てた愚かな人と同じです。木と実で言えば、彼らは悪い実を結び悪い木です。実によって愚かか賢いかが見分けられます。

いのちの祈り

天のお父様、私の内側もきよめてください。おいしい良い実を結ぶ、良い木として、賢い生き方をさせてください。



聖書 マタイ7・24～27

タイトル 大切な土台

暗唱聖句 わたしのこれらの言葉を聞いて行うものを、岩の上に自分の家を建てた賢い人に比べることができよう。 マタイ7・24

目標 一回きりの人生を岩の上に建て上げよう。

8月2日(火)

聖書 マタイ7・21～23

聖句 ただ、天にいますわが父の御旨を行うものだけが、はいるのである。 21節

このみ言葉の前には次のようにあります。「わたしにむかって『主よ、主よ』と言う者が、みな天国にはいるのではなく」と。ドキッとしませんか。□先では、神様、イエス様と呼びかけたり、お祈りもし、多くの力あるわざをします。しかし、少しもイエス様の言葉を悟ろうとしないし、従い守ろうとしないなら、天国の入口でイエス様から「あなたを全く知らない」とつばねられたら、父なる神様の御旨、お心を知って心して行えますように。

いのちの祈り

天のお父様、しっかりと心静めてみ言葉を聞き、み言葉を行う者となり、天国に迎え入れられる者としてください。

7月31日(日)

聖書 マタイ7・24～27

聖句 わたしのこれらの言葉を聞いて行うものを、岩の上に自分の家を建てた賢い人に比べることができよう。 4節

イエス様のみ言葉が聞けることは大きな祝福です。でも、聞いても忘れてしまったり、全然聞いたとおりに実行しないで、自分のわがままを通し、楽しみの方に行く、こういう人が自分の家を砂の上に建てる愚かな人です。大風や大雨が吹きつけるとひどい倒れ方をします。大切な一回きりの人生が台なしになってしまわないように、そのためには、しっかりとイエス様のみ言葉を聞いて、その通りにすること。そうすると何が起ころうともヒクともしません。

いのちの祈り

天のお父様、毎日イエス様のみ言葉を聞いてお祈りして、み言葉を実行することができるよう助けてください。

# 8月5日(金)

聖書 マタイ 16・13～20

聖句 わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てよう。黄泉の力もそれに打ち勝つことはない。 18節

今日の「この岩」とは何でしょう。それは16節にあるシモン・ペテロの重大な信仰の告白です。イエス様のことを人々はヨハネだとかエリヤだとかエリミヤだとか言うけれど、シモン・ペテロはすばり言いました。「あなたこそ、生ける神の子キリストです」と。イエス様は大満足で、「わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てよう」と言われたのです。教会の土台、それは「イエス様は生ける神の子キリスト」と堅く信じている、この信仰なのです。

いのちの祈り

天のお父様、イエス様は生きておられ、まことの神のひとり子、救い主であることを心から信じます。

# 8月3日(水)

聖書 I コリント 3・10～15

聖句 この土台はイエス・キリストである。 11節

これは大伝道者また牧会者パウロ先生がコリントの教会にあてて書いたお手紙の中の言葉です。イエス様も大工さんでしたから土台の大切なことをよく知っておられて、岩の上の家のお話をしてくださいました。パウロ先生は「熟練した建築師のように、土台を据えた」と言っています。プロの高い技術を持った建築師のように人生の土台を据えるのです。そして、「この土台はイエス・キリストである」と。イエス様を土台として立派な人生を建て上げましょう。

いのちの祈り

天のお父様、一回きりの大切な私の人生のためにイエス様という、なくてはならない土台をしっかりと据えさせてください。

# 8月6日(土)

聖書 ヤコブ 1・19～25

聖句 御言を行う人になりなさい。おのれを欺いて、ただ聞くだけの者となつてはいけな。 22節

この手紙はイエス様の弟のヤコブさんが書きました。お兄さんのイエス様が、み言葉を聞いて行っ人々を岩の上に自分の家を建てた賢い人に比べてと同じように、弟のヤコブさんも、「御言を行う人になりなさい」と勧めています。聞くだけで行わない人は、鏡に自分を映して、顔によごれが付いていてもそのまま知らん顔のような人ですと言います。愚かなままです。み言葉を行う人はちゃんと受けとめて、実際に行う人で、どんどん祝福されます。

いのちの祈り

天のお父様、み言葉を行うことが、どんなに大切なことか良く分かりました。み言葉を行えるよう助けてください。

# 8月4日(木)

聖書 I コリント 10・1～5

聖句 彼らについてきた霊の岩から飲んだのであるが、この岩はキリストにほかならない。 4節

今日の話はパウロ先生の先祖たちの話です。今からもう三千五百年くらいも前のことをパウロ先生は書いています。先祖たちがモーセに率いられて奇跡的に紅海を渡り、エジプトを脱出しました。雲とは神様が共にいてくださる印です。神様が共にいて荒野でも霊の食物(マナ)を食べさせてもらい、霊の岩からわき出る水を飲んだのでした。彼らにずっと付いて来てくださったこの霊の岩とはキリストだったので。岩なるイエス様に今日も養われますように。

いのちの祈り

天のお父様、イエス様のうちに、必要な心の食べ物も霊の飲み物もあることを知って、岩なるイエス様に頼ります。

# 8月8日(月)

聖書

創世記 1・1～8

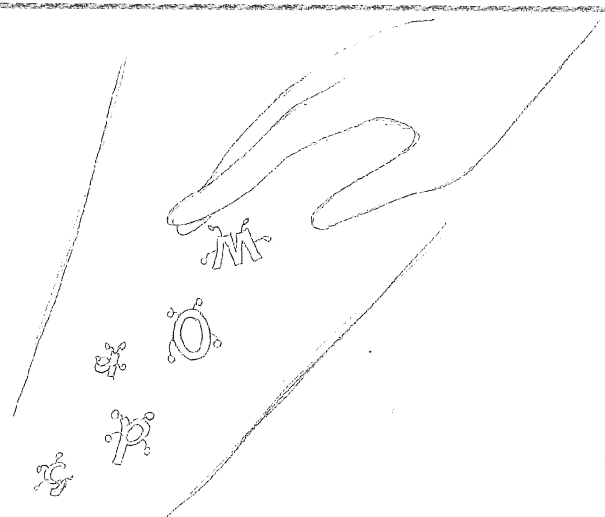
聖句

神は「光あれ」と言われた。すると光があった。 3節

暑い8月ですが、この8月は「主のみわざ」が神様のみ言葉と、人々の信仰によって、目覚ましくなされていくことを見えています。心もワクワク熱くなりそうです。主のみわざがみ言葉によってなされた最大のことは、「天地創造」ですね。人間が何かを作る時は絶対に材料が必要です。粘土や木切れとか、糸とか綿とか布、粉や砂糖など、しかし、神様はこの美しく、バランスがとれて、カラフルで精密に雄大に出来ている宇宙のすべてのものを、何も無い所から言葉だけで造られたのです！

いのちの祈り

天のお父様、光からはじまって、一日一日とあなたはみ言葉をもって完全に造られました。ただほめたたえます。



聖書

マタイ 8・5～13

タイトル

百 卒長の信仰

暗唱聖句

ただ、お言葉を下さい。そうすれば僕はなおります。

マタイ 8・8

目標

主のみわざをみるために、百 卒長の信仰になろう。

# 8月9日(火)

聖書

ヘブル 11・1～6

聖句

昔の人たちは、この信仰のゆえに賞賛された。 2節

ほめてもらうと誰でもうれしいものです。その中でも、百 卒長のように「信仰」をほめてもらうことは一番うれしいことです。ここにも昔の人たちが、信仰があつたということではめられたとあります。信仰によってこの世界が神の言葉で造られたことを知り、見えない神様に祈り求めると必ずこたえてくださると信じる信仰を神様は喜んでくださいます。7節から11節の終わりまで見てゆくと、私たちのよく知っている人々が「信仰」によって「驚くべきほどの神様のみわざを見たこと」がわかります。私達にも信仰を！

いのちの祈り

天のお父様、見えないあなたをいつも見ている信仰を与え、信仰と祈りであなたの働きを見させてください。

# 8月7日(日)

聖書

マタイ 8・5～13

聖句

ただ、お言葉を下さい。そうすれば僕はなおります。 8節

イエス様が「ほおっ！」って感心されるほどの信仰を持ちたいですね。百 卒長の信仰がそのような信仰でした。100人の兵卒に「行け」とか「来い」とか命令するとみんなハハッと従うのです。その言葉に力があつたからです。その人の僕が病気になる、イエス様にいやしてもらおうとしたのです。行って治してあげようと言われるイエス様に、百 卒長は今日のみ言葉を言いました。自分の言葉以上にイエス様のお言葉には力があるので、きっと治ると信じていたからなのです。

いのちの祈り

天のお父様、百 卒長の立派な信仰に見習わせてください。力あるあなたのみ言葉をもつと読ませてください。

8月12日(金)

聖書 ルカ5・1～11

聖句 しかし、お言葉ですから、網をおろしてみましよう。 5節

百卒長のいたカペナウムの町の近くのゲネサレ湖畔でおこったでき事です。百卒長の僕のいやしから少し後のことでした。シモン・ペテロや他の漁師たちは、夜通し働いても一匹の魚もとれなかったのです。シモンの舟に乗って群衆に話し終わると、イエス様は「沖へこぎ出し、網をおろして漁をして見なさい」と言われます。え？ 今そこはだめですよと思いつつも「お言葉ですから」と、網をおろしたところ、何と大漁！ 網が破れそつ！ イエス様のお言葉の何と力強いこと！

いの祈り

天のお父様、イエス様のお言葉を素直に信じてそのとおりにする時、主の大きなみわざが現れることを感謝します。

8月10日(水)

聖書 詩篇1・1～6

聖句 このような人は主のおきてをよろこび、昼も夜もそのおきてを思う

2節

どのようにしたらふらふらしない信仰、強い信仰、あつい信仰をもつ子どもになれるのでしょうか？ それは、力強い神様の言葉がカギです。この詩篇にあるように、悪い人の誘惑に負けない人は、まず神様の言葉を読むことが大好きで、み言葉を心にたくわえて、朝、み言葉を讀んだらそのみ言葉をいつも、一日中ずっと心にとめて口に出して言ったりします。静かな夜は、もちろんみ言葉を思い出し、信仰が満ちあふれてきます。

いの祈り

天のお父様、あなたのみ言葉をいつでも読めることを感謝します。み言葉により、強い信仰を持つ子どもにしてください。

8月13日(土)

聖書 ヘブル4・1～13

聖句 「きょう、み声を聞いたなら、あなたがたの心を、かたくなにしていけない」。 7節

あつい信仰によってほめられた、たくさんの人々が昔いましたが、不信仰で滅びてしまった人々も残念ながらたくさんいたのです。だから、神様のみ声、み言葉を聞いたなら、かたくなな心にならないように、不信仰にならないように、気をつけなさいよ！ と神様が言っておられます。神様の言葉を心から喜んで聞いて、そのまま信じる人の心には神様の安息が約束されています。生きていて力あるみ言葉に、完全に信頼している人の心は安心で満たされます。

いの祈り

天のお父様。昔の不信仰な人々のようにでなく、力強い、生けるあなたのみ言葉を信じて安らかに歩ませてください。

8月11日(木)

聖書 詩篇19・1～14

聖句 主のおきては完全であって、魂を生き返らせ、主のあかしは確かであって、無学なものを賢くする。 7節

この詩篇には、目に見えない神様を知って、しっかりと信じていることができるようにしてくださるものが二つあると書かれています。一つは神様が造られた大自然、天地万物。大空、天、太陽、月、星、すべて造られたものは神様の栄光をあらわして輝いています。もう一つは「主のおきて」です。昨日もみましたが、書かれた神様の言葉、つまり「聖書」です。そのみ言葉だけが完全で、私たちの魂を生き返させます。さらに私たちを神様の知恵で賢くしてくれます。

いの祈り

天のお父様、毎日いろんなことがある中で、み言葉により心生き生きと、あなたと共に歩みますようにお守りください。

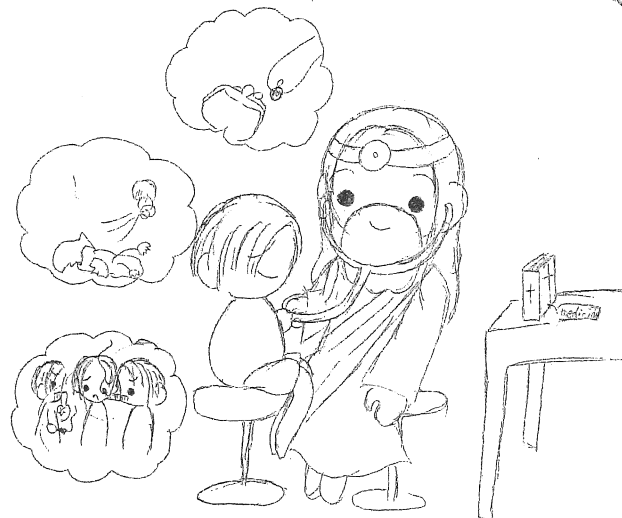
# 8月15日(月)

**聖書** ヨハネ 1・35～42

**聖句** 「あなたはヨハネの子シモンである。  
あなたをケパ（訳せば、ペテロ）と  
呼ぶことにする」。 42節

シモン・ペテロが兄弟アンデレに導かれて、  
はじめてイエス様とお会いする場面です。  
メシヤとはどんなお方なのかとシモンの胸は  
ドキドキしていたかもしれません。イエス様  
はシモンに目をしっかりとめて言われまし  
た。「あなたは今のところ砂粒のように小さく  
弱い存在かもしれませんが、あなたをケパ、  
大岩と呼ぶことにします」と。イエス様はシ  
モンをやがて大岩のように重く、立派な人に  
してあげますよ、という約束をシモンにして  
くださったのです。

**いのちの祈り**  
天のお父様、はじめて会ったシモンさえも  
よくご存知のイエス様は、私をも知って造り変  
えてくださるので感謝します。



**聖書** マタイ 9・9～13

**タイトル** 取税人マタイ

**暗唱聖句** わたしがきたのは、義人を招く  
ためではなく、罪人を招くため  
である。 マタイ 9・13

**目標** 取税人マタイをも呼び出された  
主のみわざに学ぶ。

# 8月16日(火)

**聖書** ヨハネ 1・43～51

**聖句** 「見よ、あの人こそ、ほんとうのイ  
スラエル人である。その心には偽り  
がない」。 47節

次にイエス様が召されたのはピリポでした。  
このピリポがナタナエルに出会って、「ナザレ  
のイエスにいま出会った」と言つと、「ナザレ  
から、なんのよいものが出ようか」と、ナタ  
ナエルはイエス様のことをあまりよく言いま  
せんでした。しかし「きて見なさい」とピリ  
ポに言われ近づいていくと、イエス様が今日  
のみ言葉を言われました。ナタナエルはびっ  
くり、いちじくの木の下の自分を見てこう言  
われ、自分が恥ずかしくなりイエス様を崇め  
ました。

**いのちの祈り**  
天のお父様、シモンやナタナエルを知るよ  
うに、私を知って神様に喜ばれる人にしてくだ  
さるイエス様を感謝します。

# 8月14日(日)

**聖書** マタイ 9・9～13

**聖句** わたしがきたのは、義人を招くため  
ではなく、罪人を招くためである。 13節

イエス様の多くのみわざ、奇跡の中に、「私  
がイエス様に呼び出されたことも含まれるの  
です」とマタイは言いたいのです。そのころ  
の罪人たちは、パリサイ人たちのようにき  
ちんと律法を守れない者として、社会から  
けものにされていた人で、取税人とか羊飼  
いなど、他にもたくさんいました。罪人のひ  
と、取税人マタイに声をかけて招かれただけ  
でなく、多くの罪人たちと共に食事の席につ  
いたイエス様！ 罪人たちが心から悔い改める  
ことを一番喜ばれるお方です。

**いのちの祈り**  
天のお父様、マタイや他の罪人のように、  
私をも選んで招いてくださり感謝します。

# 8月19日(金)

聖書 ルカ19・1～10

聖句 人の子がきたのは、失われたものを  
 尋ね出して救うためである。10節

すぐよく知られている取税人、それも取税人  
 のかしら、その名はザアカイ。どうして金持  
 ちになったのか、そのわけは見えない。そん  
 な、ローマの手先になって働く罪人ザアカイ  
 に近づく人なんて誰もいません。ところが、  
 忘れられない日がやってきました。イエス様  
 がザアカイの町エリコへ来られたのでした。  
 人ごみの中からいちじく桑の木に登るザアカ  
 イ。木の下から「ザアカイノ」と呼ばれて大  
 感激ノザアカイはイエス様と共に自分の家へ、  
 そしてその心にイエス様を迎えました。

いの  
 祈り

天のお父様、イエス様は友のいないさびし  
 いザアカイを招き、悔い改めさせる大きなわざ  
 をされ感謝です。

# 8月17日(水)

聖書 マタイ4・12～20

聖句 「私についてきなさい。あなたがたを、  
 人間をとる漁師にしてあげよう」。  
 19節

都会はいい所、田舎はどうも、という考え  
 の人はいるかしら。イエス様の時代、それよ  
 り七百年も前から、ガリラヤという町はユダ  
 ヤ人からはみまげられていた所です。でも救  
 い主イエス様はその地で伝道しました。その  
 地の漁師たちに声をかけて、ご自分の弟子と  
 して召し出されたのでした。マタイは、イエ  
 ス様がガリラヤの海辺でシモンとアンデレに  
 声をかけられたことを記しています。漁師の  
 彼らを、人間を神の子にするお仕事に招きま  
 した。

いの  
 祈り

天のお父様、イエス様は山や田舎や海辺に  
 住む平凡な人に声をかけられ、あなたの仕事に  
 招いてくださり感謝です。

# 8月20日(土)

聖書 使徒行伝9・1～9

聖句 「サウロ、サウロ、なぜわたしを迫害  
 するのか」。 4節

天下にその名をとどろかせた大迫害者サウ  
 ロ。イエス様を信じる者を捕らえて牢に入れ  
 たり殺したりしました。いよいよダマスコに  
 いるクリスチャンたちを捕らえに行こうとし  
 たとき、太陽よりもまぶしい天からの光ノそ  
 の光に打たれてサウロは地に倒れ、目が見え  
 なくなり、3日間食べたり飲んだりしないで  
 すこしました。その中で復活のイエス様との  
 出会いを思い、キリストだけが罪をゆるし、  
 きよめてくださるお方とわかったのです。そ  
 して大伝道者に造り変えられました。

いの  
 祈り

天のお父様、大迫害者サウロさえ造り変え  
 るあなたのみわざを賛美します。家族やお友だ  
 ちのためにもお祈りします。

# 8月18日(木)

聖書 マタイ4・21～25

聖句 すぐ舟と父とをおいて、イエスに従  
 って行った。 22節

ほかの二人の兄弟で、ゼベダイの子ヤコブ  
 とヨハネにもイエス様は声をかけられました。  
 この二人は父ゼベダイと一緒に、舟の中で網  
 を直していたのでした。貧しい漁師のふたり  
 をもイエス様はお招きになったのでした。す  
 ると彼らはすぐ舟も父もおいて、イエス様に  
 従っていきました。何と切った決断だっ  
 たことでしょう。そして、イエス様はガリラ  
 ヤの全地を巡り歩いて、諸会堂で教え、病氣  
 の人を治し、苦しむ人を慰めてあげました。

いの  
 祈り

天のお父様、イエス様に招かれるのは大き  
 な喜びです。ヤコブやヨハネのように、すぐに  
 従って行かせてください。

# 8月22日(月)

聖書

マタイ12・22～28

聖句

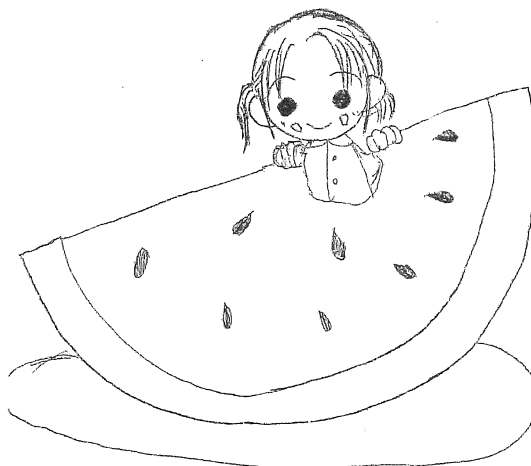
「この人が、あるいはダビデの子ではあるまいか」。

23節

ここに登場している人は、ただ目が見えないばかりか、口もきけない、お話ができない人です。おしゃべりが大好きなお友だちが話せなくなったらどんなに悲しいことでしょう。人々はきつとこの人の悲しくつらい心がよくわかって、イエス様のもとに連れていきました。おまけにこの人は悪霊につかれていました。悪霊のせいで目も口も病気があったのでしよう。イエス様は彼をすっかり治してあげました。イエス様の力のすばらしさが現れました。

いのちの祈り

天のお父様、悪霊を追い出し、目を開き、口を開いてくださったイエス様のみわざはメシヤのわざと信じます。



聖書

マタイ9・27～31

タイトル

ふたりの目の見えない人

暗唱聖句

あなたがたの信仰どおり、あなたがたの身になるように。

マタイ9・29

目標

見えない目さえも開かれる主のみわざに学ぶ。

# 8月23日(火)

聖書

マルコ8・22～26

聖句

「人が見えます。木のように見えます。歩いているようです」。

24節

その頃ユダヤには目の見えない人が多かったようです。またひとりの目の見えない人々がイエス様のもとにつれてきました。この時は二段階のいやしのみわざです。両目にしばきをつけ、両手を当てる、まずは第一段階。歩いていく人が木のように見えたのです。もう一度イエス様が彼の目の上に両手を当てると、見つけているうちについにぼんやりとすべてが見えだしました。急に見えしヨックをやわらげるためでした。優しいやし主ですね。

いのちの祈り

天のお父様、イエス様のいやしは優しい心でなされ、一気に！でなく、だんだんということもあることを知り感謝します。

# 8月21日(日)

聖書

マタイ9・27～31

聖句

あなたがたの信仰どおり、あなたがたの身になるように。

29節

見えないことは何とつらいことでしょう。ちよつと目を閉じてみてください。ずっとこのままだ…と思うとどうですか？ふたりの目の見えない人はイエス様のいやしのみわざの事を聞いて信じ、一心に叫び求めました。そして、この方がメシヤで、きつと自分たちの目を見えるようにしてくださいと。目が不自由だということで誰からも差別されていた人たちの「信じる心」をイエス様は見えて、しかも目にさわり目を開いてくださいました。

いのちの祈り

天のお父様、救い主イエス様をおつかわしく下さり感謝致します。主はまたいやし主であることを信じます。

8月26日(金)

聖書 マタイ23・25～28

聖句 盲目なパリサイ人よ。まず、杯の内側をきよめるがよい。そうすれば、外側も清くなるであろう。 26節

え、パリサイ人ってみんな目が見えない人なの？ いいえ、これは肉眼ではなく心の目のことをイエス様は言っておられます。律法学者もパリサイ人も偽善な人々、外側ばかり美しくして、ちよつどきれいに白く塗った墓のようだとイエス様はきびしく言われています。心が、内側がきよくなければ神様を見ることも、神様の声を聞くこともできません。心の清い人たちが神様を見るのです。そつでない人はみんな心の目が見えない人です。今日あなたの心の目は？

いの

祈り 天のお父様、イエス様の血潮によって私の心を清くしてください。そして心の目がはっきり見えますように。

8月24日(水)

聖書 マルコ10・46～52

聖句 「行け、あなたの信仰があなたを救つた」。 52節

取税人のかしらザアカイの町エリコ、そこにいた目の見えない物こいバルテマイ。エリコは昔ヨシユア率いるイスラエルに城壁をくずされた町でした。そんな町で道ばたにすわつて物こいをするバルテマイはあわれな人でしたね。ところが、彼の耳に「ナザレのイエス」が来られたとの知らせが入つた時、彼は叫び出しました。「ダビデの子イエスよ、わたしをあわれんでください」。どんなにしかつてもダメ。ますます叫ぶバルテマイの信仰はみごとに報われました。

いの

祈り 天のお父様、まわりの人からどう押さえられ反対されても、必ず祈りに応えてくださる主のみわざを信じます。

8月27日(土)

聖書 詩篇119・17～24

聖句 わたしの目を開いて、あなたのおきてのうちのくすしき事を見させてください。 18節

肉の目を開いて見えるようにして下さるイエス様はまだ、私たちの心の目も開いて、神様や、神様のみわざがよく見えるようにしてくださいのお方です。今日のみ言葉はよいお祈りの言葉です。神様のみ言葉を讀もつとする時に、「どうぞわたしの心の目を開いてください。そしてあなたのみ言葉のうちのくすしき事、隠された意味、深い意味、さらにその中に神様のお心や願いや計画をみることで、ますますよに」との祈りです。聖書を讀む時いつも祈りましよう。

いの

祈り 天のお父様、信仰の世界は見えない世界です。み言葉を讀む時、私の目を開き、み言葉をわからせてください。

8月25日(木)

聖書 ヨハネ9・1～12

聖句 ただ神のみわざが、彼の上に現れるためである。 3節

「先祖が悪いから、いやあなたがきつと何か罪を犯しているから、生まれつき目が見えないのです」と、彼は周囲の人々、いいえ、主の弟子たちに言われました。多くの人がこんな風に考えているのでしよう。昔も今も同じです。でもイエス様の答えは全然ちがいます。「ただ神のみわざが、彼の上に現れるため」。そうです、神の栄光が現れるのです。何という慰め、礼拝でしよう。つばきの泥のついた目をシロアムの池で洗うように言われて、その通りしたら見えるようになりました！

いの

祈り 天のお父様、人の思いと神様の思いはどんなにちがうことでしょう！ イエス様の目で見つめられて感謝します。

# 8月29日(月)

聖書

マルコ5・35～43

聖句

子供の手を取って、「タリタ、クミ」と言われた。それは「少女よ、さあ起きなさい」という意味である。 41節

会堂司やイロの愛する幼い娘があぶない。彼は主の足もとにひれ伏し、「来て娘を助けてください」と願いました。しかし、ひとりの病気の婦人をいやしてあげている間に、娘が死んだという知らせが入りました。イエス様はその言葉を聞き流して、「恐れることはない。ただ信じなさい」とヤイロに言いました。父母と供の者たちだけを連れて死んだ娘のいる部屋に行つて、子どもの手を取り、「タリタ、クミ」と呼ばれると、娘は起き上がり歩きました。なんと力強く愛に満ちたみわざでした。

いのちの祈り

天のお父様、イエス様の満ち満ちた愛は死の力さえも打ち破るものであることを知って心から感謝します。



聖書

ルカ7・11～17

タイトル

ナインのやもめ

暗唱聖句

主はこの婦人を見て深い同情を寄せられ、「泣かないでいなさい」と言われた。 ルカ7・13

目標

主のみわざは主の深いあわれみから出たことを知る。

# 8月30日(火)

聖書

ヨハネ11・32～44

聖句

イエスは涙を流された。 35節

イエス様によって死の世界から命の世界へ再び引き戻されるという奇跡的経験をした三人目の人がこのラザロという人です。今日のみ言葉は聖書の中で一番短い聖句ですが、何と奥深いみ言葉でしょう。「ああ、なんと彼を愛しておられたことか」とユダヤ人たちが言いまして、その深い愛がラザロをよみがえらせました。そして、このことはやがてイエス様も死より復活するということのしるしでした。私たちを死より救ってくださるのも、主の深い愛です。

いのちの祈り

天のお父様、ラザロをよみがえらせたイエス様のあわれみは、今も私たちにそそがれていることを感謝します。

# 8月28日(日)

聖書

ルカ7・11～17

聖句

主はこの婦人を見て深い同情を寄せられ、「泣かないでいなさい」と言われた。 13節

「主人が自分よりも先に亡くなっていた、このやもめにとって、頼りとするひとり息子がい死んでしまいました。お葬式の間中、涙にくれています。ナインの町に、今、「死の行列」と「命の行列」とがバッタリと出会います。泣き悲しむ婦人に、イエス様の心は深い同情とあわれみに満ちあふれました。「泣かないでいなさい」と言って近寄り、ひつぎにさわって、「若者よ、さあ起きなさい」と、死人が起き上がったのです！あわれみの力あるわざでした。

いのちの祈り

天のお父様、イエス様の心の内に満ち満ちたあわれみが奇跡となって現われたことを知り、感謝いたします。

9月2日(金)

聖書

I テサロニケ 4・13～18

聖句

イエスが死んで復活されたからには、  
同様に神はイエスにあって眠っている人々をも、イエスと一緒に導きだして下さるであろう。 14節

ナインのやもめのひとり息子も、ヤイロの娘も、ラザロも、もちろんまだ肉体の死を迎え葬られました。彼らが経験した復活は、そのときだけの短いものでした。しかし、主のあわれみにより、やがて、イエスを信じて眠っている人々が、イエス様の再臨の時、まずよみがえります。それから、その時生きていたら、一瞬に変えられて、空中の主のもとに携え上げられるのです。それから神と共に永遠にすごすのです。

いのちの祈り

天のお父様、イエス様が死んで葬られ、よみに降り、復活されたことは何という輝かしい重大なことでしょう。

8月31日(水)

聖書

使徒 行伝 9・36～43

聖句

「タビタよ、起きなさい」と言った。すると彼女は目をあけ、ペテロを見て起きなおった。 40節

イエス様のお弟子のペテロにも、驚くべき神のみわざをする力が与えられました。はじめて天から聖霊が降ったペンテコステの時から、ペテロも他の弟子たちもみんな聖霊に満たされて、主のみわざのために用いられたのです。聖霊はイエス様の霊です。ペテロはタビタのために泣き悲しむやもめたちの涙を見ました。タビタにつくつてもらった下着や上着をみせて泣いています。ひざまずいて祈るペテロに主のあわれみと復活の力が注がれ、みわざがなされました。

いのちの祈り

天のお父様、イエス様だけでなく弟子たちにも信仰と祈りによって、復活の命と力が注がれることを知り感謝します。

9月3日(土)

聖書

ヨハネ黙示録 21・1～8

聖句

神 自ら人と共にいまして、人の目のから涙を全くぬぐいとってください。 3、4節

地の上で行われた奇跡が集まる場所、それが新天地、新しいエルサレム、神様の都です。神様が私たちと共におられます。人の目から涙を全くぬぐい取ってください。この目です。みんながつらくて泣いた時、おかあさんかだれかに涙をぬぐい取ってもらったことがありますか？ やさしく慰められたでしょう？ あわれみ深い神様のあわれみの集結、それが天国、神様の国です。死人のよみがえりを信じなければ大変なことになってしまつとわかるでしょう？

いのちの祈り

天のお父様、私たちには永遠の神の国が約束されていて感謝します。あなたの果てしないあわれみを感謝します。

9月1日(木)

聖書

使徒 行伝 17・22～34

聖句

死人のよみがえりのことを聞くとある者はあざ笑い、またある者たちは、「このことについては、いずれまた聞くことにする」と言った。 32節

「エーッ！ 死人がよみがえるだなんて！ きみ、ほんとにそんなばかげた事信じているのー？」と、今でも言う人々はたくさんいるにちがいありません。パウロがギリシアのアテネで主の復活の事を話した時、あざわらう人々や、またいずれ聞くことにするよ、といった信じようとはしない人々がいっぱいでした。今日、あなたはどうか？ イエス様は墓から、死人の中からよみがえったと信じて命を得てください。

いのちの祈り

天のお父様、じっと考えてみれば「復活」とは何という恵みでしょう。もっと多くのお友だちに伝えさせてください。

9月5日(月)

聖書

マタイ10・1～4

聖句

イエスは十二弟子を呼び寄せて、汚れた霊を追い出し、あらゆる病気、あらゆるわずらいをいやす権威をお授けになった。 1節

イエス様がお祈りして、選ばれたお弟子さんは12人でした。その人たちは「十二使徒」とも呼ばれました。つかわされた人々だったからです。つかわされる前には？「イエスは十二弟子を呼び寄せて」とあります。彼らはイエス様のもとにきました。3年と少し、ずっとイエス様と共に過ごしました。そこで汚れた霊を追い出したり、病気を治す力を受けたのです。教会はイエス様が私たちを呼び寄せてくださる所です。

いのちの祈り

天のお父様、こんな小さい私をも呼び寄せてくださり感謝します。あなたの力を授けておつかわしてください。

ラリ day



聖書

マタイ10・1～15

タイトル

弟子をつかわす

暗唱聖句

その家にはいったなら、平安を祈ってあげなさい。

マタイ10・12

目

標

全員、主のもとに集合！それはまたつかわされるため。

9月6日(火)

聖書

マタイ10・16～23

聖句

へびのように賢く、はとのように素直であれ。 16節

「羊をおかみの中に送る」ですって！そんな恐ろしいこと、と思ってしまう。でも羊のためには羊飼いなるイエス様が共にいてくださるので、恐れることはありません。けれども、へびのように賢くありません。この世の人々のする賢さにまぎこめられないようにしましょう。それと共に、はとのように素直でいてください。特に神様の声が聞こえた時に！もしかして迫害を受けるようなことがあっても大丈夫です。羊飼いなる神様が必ず守ってください。

いのちの祈り

天のお父様、この世につかわされて行くにあたり、へびのような賢さと、はとのような素直さをお与えください。

9月4日(日)

聖書

マタイ10・1～15

聖句

その家にはいったなら、平安を祈ってあげなさい。 12節

親善使節という言葉を知ってますか？もし、小学生とか中学生で、親善使節として、どこか外国へ行った人がいるかもしれないね。訪問する国と仲良くするための代表です。イエス様の12人のお弟子さんたちは、天国・神の国の親善使節でしたよ。だからつかわされていくその家に入ると、平安を祈ってあげたのです。平和の君イエス様の治める神の国からの使いだからです。小さい私たちも教会から、平安を祈ってあげる弟子としてつかわされましょう。

いのちの祈り

天のお父様、私をも選んでくださって感謝します。どこでも平安を祈ってあげられる弟子としてください。

9月9日(金)

聖書 マタイ10・40～42

聖句 あなたがたを受け入れる者は、わたしを受け入れるのである。わたしを受け入れる者は、わたしをおつかわしになったかたを受け入れるのである。

40節

小さい私たちを、「おはよう！ いらっしゃーい！」と迎え、受け入れてくださる教会の牧師先生や、教会学校の先生方は、実は、イエス様を受け入れているのだとイエス様は言われます。さらに、イエス様をそのように受け入れる人は、イエス様をおつかわしになった方、つまり天のお父様を受け入れているのです。小さい私たちを、天のお父様がどんなにか大切に思い、愛していてくださるかがよくわかりますね！

いのちの祈り

天のお父様、小さい私を大切にしてください。感謝します。私も弱い小さい人々に愛をあらわせますように。

9月7日(水)

聖書 マタイ10・24～33

聖句 あなたがたの父の許しがいなければ、その一羽も地に落ちることはない。

29節

日本ではイエス様を信じているからといって、捕らえられて牢に入れられたりすることはありません。昔、そんな時もありました。今でも、そんな迫害を受けている国もあるのです。この日本でも私たちの周りでもいじめられたり、苦しめられたりということがあってもいいかもしれません。けれども恐れることはない。イエス様は言われます。二羽のすずめは一アサリオン、五羽は二アサリオン、一羽はおまけのように小さくても、天の父の完全な守りがあるから安心です。

いのちの祈り

天のお父様、小さなすずめを守り、私の頭の毛までも数えられるあなたを心から恐れ、頼りにさせてください。

9月10日(土)

聖書 イザヤ52・1～10

聖句 よきおとずれを伝え、救を告げ、シオンにむかって「あなたの神は王となられた」と言う者の足は山の上にあって、なんと美しいことだろう。7節

うれしいニュースを聞くと、「教えてあげたい！ 伝えたい！」と思うでしょう。すぐに誰かの所へ行って、誰かをつかまえて、「あのねえ」と言いたくなります。私たちに与えられている「よきおとずれ」すなわちグッド・ニュースとは、イエス様による神様の平和、イエス様による救いの福音です。その人の足はとても心あたたまるニュースを伝える足だとイザヤという預言者が書いています。私たちも美しい足で福音を伝えよう！

いのちの祈り

天のお父様、救いのよきおとずれを伝えてもらった私も、お友だちに伝えることができる子どもにしてください。

9月8日(木)

聖書 マタイ10・34～39

聖句 地上に平和をもたらすために、わたしがきたと思うな。平和ではなく、つるぎを投げ込むためにきたのである。

34節

え？ 今日の教えは今までの教えとは全く逆ではないですか、と首をかしげたくなりませんか。でも実はこれが、イエス様の真の弟子の歩むべき道なのです。イエス様を信じて、弟子となつて従って行く道は、この他にはありません。イエス様の弟子は、他の何物にもまさってイエス様を愛して、イエス様を第一とする人々です。そして、お父さんより、お母さんより、どんな友だちより、そして、自分の命よりもイエス様のことを第一として愛する人のことです。

いのちの祈り

天のお父様、イエス様の弟子となる道はきびしいです。しかしまちがいに永遠の命への道なので感謝です。

9月12日(月)

聖書

マタイ11・1~10

聖句

わたしにつまずかない者は、さいわいである。 6節

イエス様が偉大な招きをなさった頃のユダヤの人々はどんなだったのでしょうか？どんな重荷を負っていたのでしょうか？バプテスマのヨハネは正しい人なのに領主ヘロデの罪をはつきり言ったため獄に入れられていました。彼は獄中でキリストのすばらしいみわざを伝え聞いて、「あなたがメシヤですか」と弟子たちをつかわして尋ねました。「見聞きしている通りメシヤですよ」が答えでした。大工の子ではないかとつまづく人もいたのです。あなたはどうでしょうか？

いのちの祈り

天のお父様、ヨハネは尋ね、人々はつまづきましたが、私はあなたがつかわされたイエス様を救い主と信じます。



聖書

マタイ11・25~30

タイトル

偉大な招き

暗唱聖句

すべて重荷を負うて苦労している者は、わたしのもとにきなさい。 マタイ11・28

目標

他には見られないイエス様の偉大な招きに応じよう。

9月13日(火)

聖書

マタイ11・11~19

聖句

バプテスマのヨハネの時から今に至るまで、天国は激しく襲われている。そして激しく襲う者たちがそれを奪い取っている。 12節

バプテスマのヨハネが悔い改めを語り出すと、大勢の人たちが、ヨハネから悔い改めのバプテスマを受け、熱心に天国へ入ろうと、押し入るようになってきました。ところが熱心に、激しく神の国を奪おうと入ろうと努めるのは取税人たちや罪人たちです。律法学者やパリサイ人たちはとても冷やかでした。彼らは外側ばかり見て、ヨハネやイエスを批判し、神の国から遠い人たちでした。天国を激しく求めよう。

いのちの祈り

天のお父様、ヨハネやイエス様の招きにこたえ、罪をおわびしバプテスマを受けて神の国に入らせてください。

9月11日(日)

聖書

マタイ11・25~30

聖句

すべて重荷を負うて苦労している者は、わたしのもとにきなさい。

28節

多くの教会の看板に書いてあるみ言葉、そして、どれほど数え切れないたくさんの人々が、このイエス様の偉大な招きの声を聞いて、教会の門をくぐり、重荷をイエス様のもとにおろして、救われ、安らいだことでしょうか！今は老人も壮年も、青年もそして小さい子どもたちもみんな重荷にあえいでいます。生きていく重荷、罪の重荷、病の重荷、悩みの重荷、一体どこにおろせる？ イエス様が招かれます。「わたしのもとに！」イエス様のもとに行きましょう。

いのちの祈り

天のお父様、あなたがおつかわしになったイエス様の招きを感謝します。救われてからもいつも行かせてください。

9月16日(金)

聖書 マタイ12・1~8

聖句 ひとこあんそくにちしゅ  
人の子は安息日の主である。 8節

「わたしが好むのは、あわれみであって、いけにえではない」(7節)とイエス様はホセア6・6のみ言葉を語られます。旧約聖書の神様の戒めは、本当はあわれみにあふれた神様の愛の律法なのです。外側ばかり見て、そのことをよく理解できないパリサイ人たちは全く勘違いして、イエス様や弟子たちを責めるのでした。安息日は心からの休みの日です。弟子たちの空腹が満たされるのを主は喜ばれるのです。イエス様は安息日の主です。

いの  
祈り

天のお父様、あなたのいろいろなおきての  
かげに、あなたのあわれみを知ることができます  
ように！

9月14日(水)

聖書 マタイ11・20~27

聖句 てんちしゅ  
天地の主なる父よ。あなたをほめた  
たえます。 25節

イエス様はつづいて、数々の力あるわざを  
なされ、メシヤとしての証明を見ながらも、  
悔い改めることをしなかった町々を責められ  
ました。「わざわざいだ、わざわざいだ」と。次の  
瞬間、イエス様は天を見上げ、声をあげて  
天の父をほめたたえはじめられました。「これ  
ほども大切な霊の知恵、神の国の奥義を知恵者  
や賢者には隠して、幼な子にあらわしてくだ  
さいました。これこそあなたのみこころにか  
なった事でした」と。共に天の父をほめたた  
えましょう。

いの  
祈り

天のお父様、小さい私たちのような者にも、  
神の国の大切な奥義をあらわしてくださり感謝  
いたします。

9月17日(土)

聖書 マタイ12・9~21

聖句 あんそくにちよ  
安息日に良いことをするのは、正し  
いことである。 12節

「いためられた羣を折ることがなく、煙っ  
ている燈心を消すこともない」。これはメシヤ  
について、イザヤがイザヤ42・3で預言して  
いるみ言葉の引用です。安息日の主のあわれ  
み深いやさしい性質がよくあらわれていま  
す。イザヤは主のしもべとしてのイエス様を  
預言したのです。穴に落ちた一匹の羊を引き  
上げてあげる。まして人は羊よりすぐれてい  
るので、手のなえた人をいやしてあげるのは  
当たり前です。安息日に良いことをするのは  
神様ののみこころです。

いの  
祈り

天のお父様、イエス様の暖かい心をもって、  
安息日である日曜日をすごすことができるよう  
お守りください。

9月15日(木)

聖書 マタイ11・28~30

聖句 わたしはにやうわこころ  
わたしは柔和で心のへりくだった者  
であるから、わたしのくびきを負う  
て、わたしに学びなさい。 29節

その頃ユダヤの人々は、律法や戒律に縛ら  
れていました。モーセの十戒だけでなく全部  
で六百三十ほどもある戒めを学び、覚え、必  
ず実行しなければなりません。まさに  
重すぎるほどのくびき、そんな人々をイエス  
様は招かれます。「わたしはピリピリ、カリカ  
リおきてを押しつけたりはしないよ、やわら  
かいへりくだった心であなたを受け入れるよ、  
わたしのくびきを負って、学んでみないか？  
きつと魂に安らぎが与えられるよ」と。

いの  
祈り

天のお父様、イエス様のくびきは負いや  
すいと信じます。イエス様と共にくびきを負って  
安心してすごします。

9月19日(月)

聖書

ヨハネ3・1～3

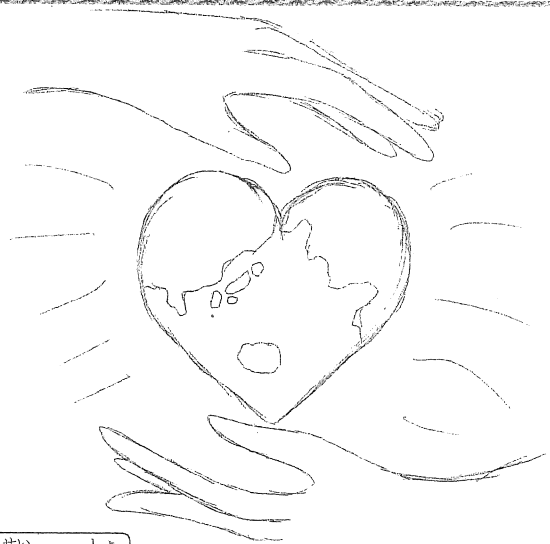
聖句

パリサイ人のひとりで、その名をニコデモというユダヤ人の指導者があった。 1節

今日は敬老の日になんで、ニコデモさんのことを考えたいと思います。たぶん年をとっていったことでしょう。パリサイ人のひとりです。律法についてとはとてもくわしく知っていました。たくさん暗記していました。ユダヤ人の指導者ですから、教えてもいたでしょう。そんなニコデモさんが誰にも見られないようにと、そっと夜イエス様のもとにやってきました。今でも年をとられた立派な人、何でも知っていると思える人が神様を知らないでいます。

いのちの祈り

天のお父様、まだ、イエス様のこと、天国のことを知らない年をとられた人たちがはやく知ることができますように。



聖書

ヨハネ3・1～16

タイトル

神の愛

暗唱聖句

神はそのひとり子を賜わったほどに、この世を愛して下さった。 ヨハネ3・16

目

標

すべての人が生まれ変わり、永遠の命を得られるようにしてください。神の愛を知る。

9月20日(火)

聖書

ヨハネ3・4～8

聖句

だれでも、水と霊とから生れなければ、神の国にはいることはできない。 5節

エ？ 新しく生れるですって？ニコデモさんは思わず尋ねました。「人は年をとってから生れることがどうしてできますか。もう一度、母のおなかにはいつて生れることができます。ようか。そう、誰でもニコデモさんのように考えてしまつてしょう。イエス様は、忍耐と熱心とあわれみの心でニコデモさんに説明します。新しく生れるとは、霊から生れることです。風がその音でわかるように、たしかに霊から生れる、新しく生れることもわかるのです。

いのちの祈り

天のお父様、ニコデモさんのように考えてしまう私にも、霊から生れるという大切なことをわからせてください。

9月18日(日)

聖書

ヨハネ3・1～16

聖句

神はそのひとり子を賜わったほどに、この世を愛して下さった。 16節

私たちが大好きになつて愛するのは気の合うお友だちとか趣味が一緒の人とかです。しかし、神様が愛してくださる私たちは、と言え、神様に背を向けて、わがまま放題に生きている私たちです。たったひとりの大切な御子イエス様を、こんな私のために、この暗い冷たい醜い、罪だらけの世に送ってくださいました。そして私の身代わりにイエス様は十字架で罰ののろいを受けて死なれ、罪のゆるしと永遠の命を与えてくださいました。何という愛でしょう！

いのちの祈り

天のお父様、「この世」という所に自分の名前を入れて、心から感謝してお祈りをいたします。アーメン！

9月23日(金)

聖書

ヨハネ14・1～6

聖句

わたしは道であり、真理であり、命である。だれでもわたしによらないでは、父のみもとに行くことはできない。 6節

イエス様を信じて永遠の命を受けた私たちのために、イエス様は永遠の住まいを用意していてくださいます。何と安心できることでしょうか。この地上では仮住まいですが、天のマンションですよ。そこへ通じている道はただ一つ、イエス様という道なのです。「頂上へ登る道はいくつもありますよ、でも頂上へ行けば同じ月を見るではありませんか、どの宗教でもいいのですよ。」いいえ、ちがいます。イエス様によつてのみ父のみもとへ行けるのです。

いのちの祈り

天のお父様、「イエス様以外の道でも天国へ行けるよ」という言葉に決してまどわされないようお守りください。

9月21日(水)

聖書

ヨハネ3・9～16

聖句

それは彼を信じる者が、すべて永遠の命を得るためである。 15節

「どうして、そんなことがあり得ましょうか」「ニコデモさんの頭の中はまだ？ マークでいっぱいです。イスラエルの教師なのにまだわからないのですか、とイエス様は言いながら、「ニコデモさんによくわかる旧約聖書のお話から解いてくださいました。民数記21章の「荒野の蛇」のお話です。あの時火の蛇にかまれて死にかけた人が救われた唯一の方法は、青銅の蛇を仰いで見ることでした。」そのように私は十字架にかかるよ。仰いで見る者が救われます」と。

いのちの祈り

天のお父様、十字架を仰ぎ、私の罪のためと信じる時、罪をゆるされ永遠の命が与えられることを感謝します。

9月24日(土)

聖書

I ヨハネ5・1～12

聖句

御子を持つ者はいのちを持ち、神の御子を持たない者はいのちを持っていない。 12節

神様が、御子イエス様を信じる者に永遠のいのちを与えていてくださいます。ここには、永遠のいのちをもつ人、御子をもつ人がどういふ生き方をするかが書かれています。その第一は、「愛」です。神から生れた人は、生んでくださった神様を愛します。同じく他の生れた人々をも愛するのです。次は、「世に勝つ信仰」です。いのちある小さな魚が川を逆流して登っていくように汚れた世の力に負けないで清く生きる信仰は、御子のいのちの力です。

いのちの祈り

天のお父様、イエス様にあるまことのいのちを感謝します。いのちにあふれる愛と信仰に満たしてください。

9月22日(木)

聖書

ヨハネ17・1～5

聖句

永遠の命とは、唯一の、まことの神でいますあなたと、また、あなたがつかわされたイエス・キリストとを知ることです。 3節

今日の聖書はイエス様のお祈りの言葉です。「永遠の命」って、ただいついっまでも永く生きられる命のことでしょうか？ もちろんそれもあるかもしれませんが、オギヤーと生れたままの私が長く生きるのではありません。唯一のまことの神様、そしてその神様によってつかわされたイエス様を知り、信じることです。聖なる神様の前に、罪をゆるしていただいて、きよい交わりの中に入れられることが永遠の命です。

いのちの祈り

天のお父様、滅ぶばかりの私が、あなたとイエス様を知って、永遠の命に生かされていることを感謝します。

9月26日(月)

聖書 ヨハネ5・10～18

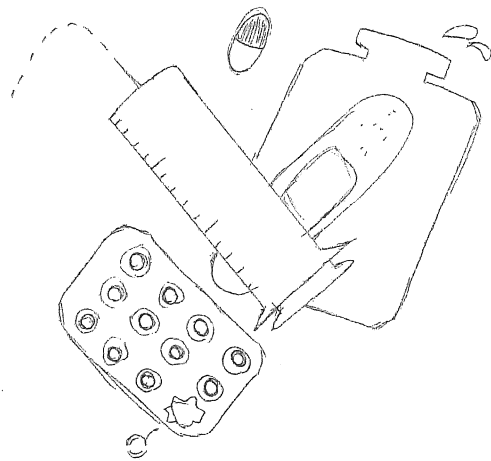
聖句 わたしの父は今に至るまで働いておられる。わたしも働くのである。

17節

その日は安息日でした。神様のあわれみの心とが、安息日の主であられるイエス様のお心とを全くわからないでいたユダヤ人たちは、せっかくこんな素晴らしい感動のないやしを目の前で見たのに、そのいやされた人に「きょうは安息日だ。床を取りあげるの、よろしくない」と言ったのです。さらにいよしたのがイエス様だとわかると彼らはイエス様をも責めました。しかし主は「今も働かれる父と共にわたしも働くのだ」ときっぱり言います。

いのちの祈り

天のお父様、あなたもまたあなたの御子イエス様も、今もなお働きつづけてくださることを感謝します。



聖書 ヨハネ5・1～9

タイトル ベテスダの池

暗唱聖句 ながあいだ長い間わずらっていたのを知って、その人に「なおりたいのか」と言われた。ヨハネ5・6

目標 イエス様こそが真にあわれみの家であることを信じる。

9月27日(火)

聖書 ヨハネ5・19～29

聖句 子は父のなさることを見てする以外に、自分からは何事もすることができない。

19節

救い主、いやし主なるイエス様でさえ、父なる神様に完全によりたのでおられました。父がなさることを見てするだけで、どんな事であっても、自分からは決してしない、できないと言われます。「父はわたしを愛していただくまで、ご自分がしようと思つことは、全部わたしに教え、示してくださるから」と。私たちもイエス様のように父なる神様にぜんぶおゆだねし、おまかせしていきたいですね。すでに、イエス様を信じて永遠の命を受けているのですから。

いのちの祈り

天のお父様、何でもおできになるあなたとイエス様が言われるとおりに生きていけることを感謝いたします。

9月25日(日)

聖書 ヨハネ5・1～9

聖句 ながあいだ長い間わずらっていたのを知って、その人に「なおりたいのか」と言われた。6節

不思議ないやしの池の水面をじっと見つめながら、38年間も、横たわっている人をイエス様は見つめられました。そしてその人に「なおりたいのか」と声をかけられました。「主よ、誰も私を池に入れてくれません。いつも他の人が先に入ってしまう」とその人は答えました。すると意外な主よりの言葉、「起きて、あなたの床を取りあげ、そして歩きなさい」。その時、その人はすべいやされました。「あわれみの家」の池の水でなくイエス様によつて。

いのちの祈り

天のお父様、真のあわれみの家とはイエス様で、本当のいやし主、救い主はイエス様だとよくわかり感謝します。

9月30日(金)

聖書 ヨハネ6・41～59

聖句 わたしは天から下ってきた生きたパンである。それを食べる者は、いつまでも生きるであろう。 51節

奇跡のパンは、食べればまたなくなるし、そのパンで養われる肉体のいのちもいつかは終る時がやってきます。この奇跡を通して、イエス様はすべての人に大切な「霊の命、永遠の命」のことを人々に話されたのです。病気の奇跡のないやしもすごいし、五千人の養いもすごい。でも、それより大事なことは死なない永遠の命を持つことです。イエス様がこの世に救い主として来てくださったのはこのことのためでした。命のパンであるイエス様を信じよう。

いの

祈り 天のお父様、あなたが与えてくださった生きたパンであるイエス様を信じて救われ、永遠に生きる者としてください。

9月28日(水)

聖書 ヨハネ5・30～40

聖句 あなたがたは、聖書の中に永遠の命があると思って調べているが、この聖書は、わたしについてあかしをするものである。 39節

ユダヤ人たちは、イエス様が神を「父」と呼んで自分を神と同じ者にした事や、安息日を破った事などで、イエス様に反発し敵対しました。そういうユダヤ人たちがどうしたら永遠の命を得られるかと聖書を調べるのですが、イエス様は、「この聖書は、今日の前にいるわたしについてあかしをしているものです」と言われます。「それなのに命を得るためにわたしのものにしようとするな」と。私たちは主のもとに行きましよう。

いの

祈り 天のお父様、聖書はどれもイエス様のことをあかししている事を知って、ますます聖書を読ませてください。

10月1日(土)

聖書 ヨハネ6・60～71

聖句 主よ、わたしたちは、だれのところに行きましょう。永遠の命の言をもっているのはあなたです。 68節

「こんなひどい言葉を誰が聞いておられようかと多くの弟子たちは去って行って、もうイエス様とはいっしょに行動しなかつたのです。そういう時イエス様は十二弟子に言われました。「あなたがたも去ろうとするのか」と。シモン・ペテロが今日の聖句を言いました。イエス様は安心されるのもつかの間、ユダの裏切りを予告されました。「人を生かすものは霊であって、肉はなんの役にも立たない」。イエス様の言葉は霊であり、また命なのです。

いの

祈り 天のお父様、永遠の命の言をもっておられるイエス様から離れず、いつもイエス様のところに行かせてください。

9月29日(木)

聖書 ヨハネ6・1～14

聖句 どこからパンを買ってきて、この人々に食べさせようか。 5節

ここには病気の人のことは出てきませんが、お腹のすいた人々へのイエス様のあわれみの心が伝わってきます。大ぜいの群衆、その数は男の人だけでも五千人ほとでした。女の人や子どもたちを入れると一万人は超えたでしょう。弟子たちはどうしていいかわかりません。ただ大麦のパン五つと、さかな二ひきをもち少年をアンデレがイエス様のものに連れてきました。そして奇跡！このあと大切な「いのちのパン、霊のかて」のお話に入っていくのです。

いの

祈り 天のお父様、イエス様は小さなささげものを用いて、多くの人々を養われたあわれみの主であることを感謝します。